



— <宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃テーマ> —

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

# 岐阜高山教務所だより

## 新年挨拶



教区内の有縁の皆様におかれましては益々ご清祥にお過ごしのことと拝察いたし、お慶び申し上げますとともに、2026年のはじまりにあたり謹んでご挨拶申し上げます。

平素より、皆様方には、宗門の護持・運営並びに教区の諸事業に深いご理解を頂いておりますこと、更には多大なるご尽力を賜り、衷心より御礼申し上げます。

永年に亘って、公開講座をはじめ、別院報恩講などの講師として教区にご縁を結んでくださいました池田勇諦先生が、昨年6月29日にご逝去されました。この紙面をおかりしまして、ここに改めて先生から様々にお力添えいただきました事に対し心より感謝申し上げますとともに、衷心よりお悔やみ申しあげる次第です。

私事ですが、一昨年2月に父が急逝しました。その折池田先生よりお悔やみにお越しいただきました際、一つの手紙を頂戴しました。そこには、「『肉体逝くといえども、法身まします』との教言を仰ぎます。」(『法華経』)という短い文章が認められてありました。「姿や形は亡くなってしまったけれども、念仏に生き、そして南無阿弥陀仏の響となって、我々のところには存在している」といったことでしょうか。

実際、この短い文章を書き記していただいた池田先生の真意をお伺いしなければ、と思いつつも、私は、日々の喧騒の中でこのことを先送り、先送りにし、結

果、今となってはもはやお聞きすることも叶わなくなってしまったことでもあります。この文章や、そして葬儀式の折にある方からいただいた言葉が、私の日常や宗務の支えになっていることは間違いありません。

頂いた言葉が私の脳裏に焼き付いていると同時に、憶念していかなければならないと思っております。やはり、念仏に生きる人を生み出し、一人でも多くの「人」を発掘していくような無限の営みが必要であります。そのためにも、初心に立ち返り、心新たに進んでまいります。

周知のとおり岐阜高山教区は、2020年7月に新しい教区としてその歩みが始まりました。教区改編後、2期6年を経る中で、様々な試みをしてまいりました。そういった状況のもと、2023年には本山で「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」が厳修され、岐阜高山教区でも一応の方向性として、来る2028年の春に法要をお勤めしていくことが話し合われています。その法要を基点とし、新しい教区としての更なる深まりを期してまいります。

繰り返しになりますが、仏教、真宗をご縁として繋がっております皆さまと共に歩みを進めて参りますとともに、今後とも宗門興隆、そして岐阜高山教区のためにご尽力賜りますことをお願いし、年頭のご挨拶とさせていただきます。 合掌

教務所長 海老原 章  
書記 木越 遥  
教化相談員 三枝 正尚

主 計 印牧 浄  
書記 曲 千那都  
教区職員 平田 彩美

主 事 窪田 昌展 書記 井野 了慧  
駐在教導 中川 唯真 駐在教導 近藤 智隆

## 今月のテレホン法話

テーマ

いのちの出会い「真実の声を」

TEL(058)265-0033

1月7日～末日

海老原 章 氏

(岐阜高山教務所長)

## 教務所・支所事務休暇について

岐阜高山教務所及び高山教務支所は下記の期間事務休暇をいただきますので、ご了承くださいませよう、よろしくお願いいたします。

①12月27日(土)～1月6日(火)

岐阜高山教務所及び高山教務支所  
年末年始事務休暇のため

②1月15日(木)12時～16日(金)13時

岐阜高山教務所 所員ミーティングのため

③1月15日(木)15時以降

高山教務支所 所員ミーティングのため

※年始事務始めは1月7日(水)になります。

## 1月の主な行事

7日(水)事務始め

8日(木)[14時]寺院活性化支援会議

9日(金)[19時]教化学研修室<sup>岐</sup>

13日(火)[14時]解放推進協議会<sup>高</sup>

15日(木)12時～16日(金)13時 教務所事務休止

15日(木)15時～ 高山支所事務休止

16日(金)[14時]御同朋を生きる輪読会<sup>岐</sup>

19日(月)[14時]聖典聖教学習会<sup>岐高</sup>

20日(火)[14時]仏教公開講座<sup>岐</sup>

21日(水)[14時]慶讃役職者会議

[19時]教化学研修室<sup>岐</sup>

29日(木)[13時]合唱団サラナン<sup>岐</sup>

[14時]真宗公開講座<sup>高</sup>

30日(金)[16時]研修部会<sup>岐</sup>

## 住職就任

12月13日就任

益田組 光雲寺 江馬 匠 様

## 図書の寄贈について

このたび、第2組浄念寺門徒、故浅野日登司氏のご遺族のご厚意により、多数の仏教書籍を教務所にご寄贈いただきました。つきましては、今後、教区の皆様が活用できるよう、教務所2階図書室に配架させていただきます。浅野様ご遺族並びに浄念寺様に厚く御礼を申し上げます。



## 是旃陀羅問題に取り組む実行委員会主催 『御同朋を生きる』輪読会

高山教務支所 第3回 2月5日(木)

第4回 3月5日(木)

いずれも14時～16時、19時～21時

岐阜高山教務所 第3回 1月16日(金)

第4回 2月12日(木)

いずれも14時～16時

持ち物 『御同朋を生きる』『是旃陀羅問題について』

『御同朋からの問いかけ』 ※貸出もあります

※詳細は教務所だより11月号同封「岐高発第30号」を参照ください。



# 聖典聖教学習会のご案内（相互リモート有）

## 岐阜会場

【第1回】12月19日(金)【開催済】

【第2回】1月19日(月)

【第3回】2月16日(月)

テーマ 親鸞聖人御消息に聴く

講師 東館 紹見 氏（大谷大学教授）

時間 午後2時～4時30分(共通)

会場 岐阜高山教務所・

高山教務支所(WEB)

参加費 500円

その他 第1種教師陞補対象研修会です。

詳細は12月号同封のチラシ参照

## 高山会場

【第1回】3月4日(水)

【第2回】4月2日(木)

【第3回】5月19日(火)

テーマ (仮)親鸞聖人の『観経』観

講師 名和 達宣 氏（教学研究所所員）

時間 午後2時～5時(共通)

会場 高山教務支所・

岐阜高山教務所(WEB)

参加費 500円

その他 第1種教師陞補対象研修会です。

## コラム「所員のつぶやき」

### 「ロックは欠落した人間の音楽だ」

これは、30年来の私の「<sup>お</sup>推し」である吉井和哉（ロックバンド「ザ・イエローモンキー」）の若いころの言葉です。人として何かが欠如しているというわけではなく、心に傷や不安を持った人達、心に空白のある人達、満たされていない（欠落している）人達が奏で、それに共感した人達に届ける音楽だということのようです。ロックが誰かの心に届くとき、それは「わかる」「自分だけじゃなかった」という共鳴が起きるからなのかもしれません。以前の私は、ただフラストレーションをぶつける音楽だと思っていましたが、30年経った今、この言葉の意味がようやくわかりました。

先日、吉井和哉の3年を追ったドキュメンタリー映画『みらいのうた』を鑑賞しました。彼は5歳の時に父親と死別し、母親が夜の仕事を一人ですてたそうです。母親が夜、衣装を纏い出勤する姿を近所から白い目で見られ、鬱屈としていたことも縁になりロックに出会いました。現在は喉頭癌を患い、それでも歌い続けるロックスターであり、同時に生老病死を生きる生身の人間としての姿がそこにはありました。

私は涙がとまらず、自分のこれまでに思いを馳せました。学生時代、ザ・イエローモンキーを夢中で聴

き始めた当時、私は身近な大切な人の死に直面しました。どうしようもない現実<sup>に</sup>直面し、満たされない欠落したものを抱え、時間が解決してくれるわけでも、理屈で納得できるわけでもない。むしろ、どうして自分だけがこんな思いをするのかという、言葉にならない孤独が残っていました。そんな時に、私は吉井和哉のロックに知らず知らずのうちに惹かれていたのだと、30年経った今になってようやくわかりました。

今思えば、彼らのロックは「大丈夫だ」と慰めるのではなく、「その痛みは確かにここにある」と、一緒に立ってくれる音でした。悲しみを乗り越えられない私、意味づけもできない私、その欠落を抱えたままの私が、知らぬ間に「声を聞いていた」。映画と歌を通して初めて、「あのとき自分は、ちゃんと生きていたんだ」と問いを抱えていた自分がそのまま丸ごと受けとめられた気がしました。

上映後、吉井本人の舞台挨拶で突然の質問コーナーが始まり、勇気を出して挙手しました。「それでは最後の質問のある方～」と言う司会者と目が合ったと思った次の瞬間、元気な女性客の「吉井さん！」の大声に押し負け、「<sup>お</sup>推し」と会話できる千載一遇のチャンスは見事に粉碎されました。

教務所 窪田昌展



## 2025 年度経常費年未完納のお願い

2025 年度宗派経常費御依頼につきましては、12 月 16 日現在で教区収納率 78.7%、完納寺院数 194 カ寺(御依頼寺院数 310 カ寺)のご収納を賜っておりますこと、厚く御礼申しあげます。御依頼完納には、①早期完納扱い(9 月 30 日締)、②年未完納扱い(1 月 20 日締)、③年度未完納扱い(6 月 30 日締)が設定されており、完納時期に応じて、法要座次・衣体許可申請が特別扱いとなります。

つきましては、2026 年1月20日(火)までのご収納により、ご完納いただいた場合、年未完納扱いとさせていただきます。年末・年始の法務ご多端のこととは存じますが、宗門護持・法義相続のご浄財のご協力につきまして、何卒よろしく申し上げます。

## 岐仏教公開講座のご案内 (1/20)

仏法聴聞の場として、「仏教公開講座」が始まり、21 年目を迎えました。

「生きるってどういうこと」を年間テーマとし、「眼(まなこ)をひらく 心(こころ)をひらく」をサブテーマとして、第 246 回を開催いたします。

一人でも多くの有縁の同朋と共に、仏法聴聞の場に出遇っていただきますようご案内申し上げます。

日 時 1 月 20 日(火) 午後 2 時から  
講 師 廣陵 兼純(ひろおか けんじゅん)氏  
(節談説教能登節伝承者)  
講 題 「去此不遠—ここを去ること、遠からず—」  
会 場 岐阜高山教務所 1 階講堂  
聴講料 年間聴講券(5,000 円)  
当日券(500 円)

### 【先生からのメッセージ】

浄土三部経のなかで、機の真実を説いた『仏説観無量寿経』には王舎城の一代悲劇を説く。国の大夫人韋提希が、吾子の為に、七重の牢獄の中に閉じ込められる事に於いて、大聖世尊に泣いて説法を求めるお姿…

## 高ひだ御坊真宗公開講座のご案内 (1/29)

飛驒御坊真宗教化センターでは、多くの方々に仏法に触れていただく機会となるよう、各団体の御協力で、真宗公開講座を開催しています。

つきましては下記の通り開催いたしますので、有縁の方々とお誘いあわせのうえ、ご聴聞ください。

日 時 1 月 29 日(木) 午後2時から  
講 師 松金 直美氏(大谷大学講師)  
講 題 地域をつくる真宗  
会 場 高山別院御坊会館  
参加費 500 円  
主 催 高山地区真宗同朋会

